



広報

あおやま

自然災害発生時の対応について

台風シーズンの時期になりました。皆様の記憶にも残っていると思いますが、平成30年7月に発生した西日本豪雨で、当院も1週間の断水を経験いたしました。この時は、水道局からの給水を得てどうにか治療を行うことが出来ましたが、入浴ができない、トイレを自由に使えないなど、水の重要性を実感した災害だったと思います。9月から11月は台風や豪雨などが発生しやすい時期なので、ここでもう一度災害発生時の対応について各ご家庭で考えてみましょう。豪雨災害発生前は、当院への給水は太田川からの供給ラインのみであったため、断水・停電に備えて大きなバケツに水を貯めるなどの対策を行っていましたが、現在は給水ラインが増えたため断水が起きにくい状況になり、以前のような対策も不要となりました。もし断水が発生した場合でも、高架水槽6t 受水槽20t 合計26tの水が貯水可能ですので、1日~2日間は給水に問題がない環境です。また、停電発生時には、自家発電機により断水が発生しにくい環境が整備されています。しかし、夜間帯に停電が発生した場合は非常電源下で患者様の生命を守らなければなりません。バッテリーで駆動できない機器（在宅酸素など）や壁の中の集中配管を利用した吸引機は停電時はそのままでは利用することができず、小型発電機を使用しての運用になります。そのため平時から発電機の運用方法やマニュアルの確認を行い、災害に備えて対応を行っています。今後とも日頃の備えを怠らず、災害発生時も焦らず対応ができるよう努めていきたいと思ひます。



新しい職員のご紹介

8月から青山病院に勤務することになりました、臨床工学技士の尾浜 葵と申します。生まれは倉橋島の尾曾郷ですが、広島育ちで呉での生活は初めてなので、おすすめのお店などあったら是非教えてください。趣味はモルモットや小動物の動画を見ることです。今までは別職種で働いており、臨床工学技士として働くのは初めてなので、いろいろと勉強中です。患者さんやスタッフさんの名前も早く覚えられるよう頑張ります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日でも早く皆様のお力になれるように精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願いいたします。



インフルエンザ予防接種

実施期間 令和4年10月15日から

令和5年1月31日まで



詳細は院内掲示ポスターまたはスタッフにご相談ください。

【他のワクチンとの接種間隔】

新型コロナウイルスワクチン⇒14日以上
肺炎球菌ワクチン⇒7日以上

※10月の土曜日は担当医が一部変更となります。
宮里（15日）・佐伯（8,22日）・大村（1,29日）

診療案内

月曜日~金曜日 午前：9時~12時 午後：4時~6時

土曜日 午前：9時~12時 午後：休診

休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日~1月3日)・お盆(8月15日)

担当医

月曜日	午前：青山	午後：大村	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：大村	午後：宮里	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：佐伯	午後：原・板倉(腎臓内科)		午後：井門(脳神経内科)	

土曜日 診療は午前のみ：宮里（第1）佐伯（第2・第4）大村（第3・第5）

季節のお料理



秋のワンプレートランチ